

# 「ヒロシマ」への平和行進、市民の声援受けて！ —「政府は核禁条約批准せよ」の声を結集しよう—



日本共産党  
市議会議員団  
週刊議会報告  
【発行】  
岡野長寿  
(0845-22-2596)  
三浦とおる  
(0848-48-5044)

27日尾道入りした平和行進は、翌28日朝、市役所前で集会を開き、住田原水協会長のあいさつに続き、平谷市長の激励文を高原市民生活部長が代読しました。同部長は集会終了まで同席、参加者を励ましました。

住田会長は、「今年の世界大会は、来年のヒロシマ・ナガサキ被爆75年、核不拡散条約（NPT）発動50年に向けた重要な節目を前に開かれる。被爆者の高齢化もあり、早く日本政府に核兵器禁止条約の批准を迫り、核兵器廃絶を実現しよう」と呼びかけました。

## 平谷市長からエール

平谷市長は、アジアで非核化をめざす情勢が進展していることへの期待感を示し、また尾道市が非核平和自治体宣言を行っている都市であることを紹介し、「世界大会成功の



参加者を激励する高原市民生活部長



行進の先頭を歩く岡野・三浦市議

ため、健康に留意して、平和行進をがんばって欲しい」と激励しました。

## 福原議長もペナント

福原市議会議長も平和行進参加者激励のため、原水協の役員にペナントを託しました。

## フイリピンから青年、和歌山コースを高齢者が…

福山から行進に参加した青年はフイリピン出身の女性シンガーソングライターで、「ノーマア・ヒロシマ、ナガサキ」の自作の歌を披露しながら、

## 国民健康保険料は据え置き —1人あたり1,482円減—

6月27日尾道市国民健康保険運営協議会（荒井貴史会長）が開かれ、市長が諮問した2019年度の尾道市国民健康保険料率等については市独自の追加緩和策により据え置くことが適当であるとの答申がなされました。

これにより、平均1人あたりの保険料は、前年度比1,482円減の85,299円となります。保険料率据え置き財源として、国民健康保険財政調整基金から約1億7千万円が充てられます。尾道市の国民健康保険の被保険者数は、30,552人（2019年3月末）で世帯数は19,701世帯です。

なお、岡野長寿市議の調査によると、2018年度末国民健康保険財政調整基金残高は13億6,200万円でこの内の約1億7千

万円が今回の保険料据え置きに使われることとなります。また、この他に前期高齢者交付金の2年後精算のため、基金から約3億円が支出される予定で、今年度末の基金残高は約8億9千万円になる見込みです。

今回の措置は基金の繰り入れに加え、2割軽減、5割軽減を受けている世帯の枠を拡げることと含んでいるので低所得の世帯にとつては、平均額よりさらに軽減される場合があります。逆に最高限度額の上限が上がるので、高額所得世帯にとっては負担が増える場合が出てきます。

共産党議員団は6月議会においても国保料軽減の論戦や意見書の提案を行い、今回の措置に一定の役割を果たしました。

## 参院選、自民2議席独占許さず、野党がトップ当選。愛媛でも野党統一候補が勝利！

共産党尾道市議団は、27日土曜日の結果報告を行いました。岡野長寿市議が、因島モジュール、土生町大山神社前で、三浦とおる市議は、24日水曜、尾道駅前

ど2箇所、それぞれ参院選の結果報告を行いました。岡野市議は広島選挙区で、自民党の2議席独占を許さず、野党連携の無所属候補がトップ当選したことを、お隣の1人区愛媛県では野党統一候補が自民党候補に勝利したこと等、市民と野党の共同の形がアベ政権打倒後の受け皿となり得ることが証明されたと指摘し、総選挙に向けて共産党と立憲民主党の党首が会談した記事が掲載されている赤旗新聞の購読をぜひこの機会にと訴えました。



参院選の報告をする岡野長寿市議